

平成25年7月25日

各 位

会 社 名 富士電機株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 北澤 通宏
 (コード番号6504 東証・名証第一部、福証)
 問合せ先 執行役員 経営企画本部 経営企画室長 荒井 順一
 TEL. 03-5435-7213

2015 年度 中期経営計画に関するお知らせ

富士電機株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：北澤通宏)は、下記のとおり「2015 年度中期経営計画」を策定しましたので、お知らせいたします。

I. 事業環境

当社を取り巻く事業環境は、国内においては、戦略市場創造プラン等の政府成長戦略および社会・産業インフラの老朽化を背景に、エネルギー投資(再生可能エネルギー・高効率火力)、老朽設備の更新投資、および、省エネ化に向けた投資が拡大するものと見込まれます。

また、海外においては、当社が重点地域と位置づけるアジアにてタイ・インドネシア・ベトナム・インドを中心に、インフラ投資、エネルギー需要増加に伴う電力投資、および、日系企業の進出加速に伴う設備投資が拡大するものと期待されます。

II. 中期経営計画

当社は、これまで器具・ディスク媒体・自販機事業等の構造改革に取り組み利益体質の構築に努め、着実に営業利益率を向上させてまいりました。2013 年度は「攻めの経営元年」と位置づけ、本年度を初年度とする「2015 年度 中期経営計画」を策定し、経営方針に掲げる「エネルギー関連事業の拡大」、「グローバル化」をさらに推し進めます。

この中期経営計画では、下記の基本方針を掲げ、収益力の強化に向けては、事業活動に伴うあらゆるコストをゼロベースで見直します。成長基盤の確立に向けては、上記事業環境下にある国内およびアジアにおいて、需要の伸張が期待できる製品・システムを有する産業インフラ・パワエレ機器・パワー半導体事業の拡大に取り組みます。

1. 基本方針

- 収益力の強化
- 成長基盤の確立
 - 国内・アジアでの事業拡大
 - 産業インフラ・パワエレ機器・パワー半導体の事業拡大

2. 経営目標 (連結)

| | 2012 年度 実績 | 2015 年度 中期経営計画 | 増減 |
|-------|---------------|-------------------|-----------|
| 売上高 | 7,458 億円 | 8,500 億円 | +1,042 億円 |
| 営業利益 | 220 億円 | 450 億円 | +230 億円 |
| 営業利益率 | 2.9% | 5.3% | +2.4pt |

※前提為替レート：1US\$=90 円、1EURO=115 円

| 【財務指標】 | 2012 年度 実績 | 2013 年度 経営計画(※) | 2015 年度 中期経営計画 |
|-----------|---------------|--------------------|-------------------|
| ネットD/Eレシオ | 1.0 倍 | 1.0 倍 | 0.7 倍 |
| 自己資本比率 | 25% | 21% | 25% |
| ROA | 3% | 2% | 3% |
| ROE | 15% | 8% | 14% |

※退職給付会計基準改正影響を反映

【注記事項】

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

以 上